

お客様各位

株式会社金門製作所
水道事業部

水道メーターの JIS 化移行へのご案内

お客様各位におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

標記につきまして、下記のとおり JIS 化対応に伴う水道メーターの製造販売終了と製品ラインナップ見直しによる後継製品への移行についてご案内申し上げます。

1. 概要

2011年4月から水道メーターが全器種 JIS 化対応メーターへ移行するに際し、今般、大幅に製品ラインナップを見直しを図りましたのでご案内いたします。

今後、移行までの間、お客先様にご不便をおかけしないよう対応させていただきます。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 背景・理由

国際規格への整合を目的として、平成17年10月(2005年10月)に新たな日本工業規格(JIS)を新基準とする計量法(特定計量器検定検査規則)の省令改正が行われました。省令改正に伴う経過措置は平成23年3月末(2011年3月末)で終了となり、平成23年4月(2011年4月)からはJIS化対応水道メーターのみの製造販売となります。

主な改正点

- ① 器差の向上
- ② 圧力損失基準の変更
- ③ 耐久試験基準の変更
- ④ 検定ポイントの変更(任意2点→特定3点)

弊社では、今回の計量法改正を受け、現行水道メーターの製品ラインナップを大幅に見直しすると共に、顧客ニーズを考慮しJIS化水道メーターの開発を行っております。

3. 販売終了器種

- ① 円読式及び液封直読式水道メーター全器種
- ② 125 mm以上の羽根車式水道メーター全器種
- ③ リモート式水道メーター全器種
- ④ 3線(ラッチリレー)パルス発信式水道メーター全器種
- ⑤ 副管付たて型軸流羽根車式水道メーター
- ⑥ よこ型軸流羽根車式水道メーター
- ⑦ ポータブル型よこ型軸流羽根車式水道メーター

4. 新製品

- ① 電池式電磁水道メーター
- ② 50~100 mm短面間水道メーター
- ③ 新型リモート水道メーター
- ④ 新型パルス発信式水道メーター

5. 新製品又は代替器種の提案

- I JIS 化対応羽根車式水道メーターの性能は全器種 R100 です。
- I 50 mm~100 mmのフランジタイプメーターは従来品に比べ軽量コンパクトになり、施工性が向上しました。また、ケース材質が鉛レスのエコプラスと FCD エポキシ樹脂粉体塗装仕様の2タイプとなり、従来より錆等の対腐食性が向上しました。
- I 電池電磁水道メーターは稼働部がない為、長期間安定的な精度が確保できます。また、軽量コンパクトで施工性が優れております。
- I 電池電磁水道メーターの指示部はバックライト付液晶表示により視認性に配慮しました。また、指示部が180度反転する構造で検針のし易さを追求しました。

参考資料:

日本水道協会(JWWA)の JIS 水道メーターに関するサイト

<http://www.jwwa.or.jp/>

以上